

備後の港「もっと活用を」

県東部振興協 旅行業者らにPR

「海フェスタ」来年開催

県東部港湾振興協会は31日、福山、尾道、三原の3市の港を対象にした利用促進セミナーを開いた。クルーズ船による見学を初めて企画し、荷主などに海上から各港を紹介した。2012年に3市を会場にした「海フェスタ」の開催を控え、各市が観光資源をPRした。

(鴻池尚)

荷主や運航業者、旅行代理店など約120人が参加した。三原市の三原港を出発し、尾道水道を通って福山港沖を折り返すコースを約4時間で巡った。

また、市や観光協会の職員が観光名所や特産をアピール。福山市沼隈町産のぶどうジュースの試飲などもあった。福山市の旅行業者は「船での日帰り旅行なども検討したい」と話した。

同協会の会長を務める福山商工会議所の林克士会頭は「人と物の両面で活性化が必要だ。観光は大きなウエイトを占める」と強調していた。



船上から尾道水道沿岸の様子を見学する参加者

船内で県の担当者が、各港の機能を紹介。福山港では、4月に第2バースが整備され、複数の船舶の同時入港が可能になったことな

荷主や運航業者、旅行代理店など約120人が参加した。三原市の三原港を出発し、尾道水道を通って福山港沖を折り返すコースを約4時間で巡った。